

2025年賀詞交歓会

開催日：2025年1月17日(金)
神情協事務局

今年の賀詞交歓会は、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズの日輪の間で盛大に開催され、行政機関団体からのご来賓をはじめ、関東近県の友好団体、会員企業など約400名にご参加いただきました。



冒頭、坂井満会長は「業界を取り巻く環境が日々変化する中、同協会は会員数350社を超える大規模な組織へと発展いたしました。本年も、協会はさまざまなイベントやセミナーを企画しております。皆さまの積極的なご参加とご協力をいただくことで、協会はさらに進んでいけると考えています。本年も是非ともよろしく願いたします。」と述べられ、協会の更なる発展への意気込みを示されました。



来賓祝辞では、黒岩祐治神奈川県知事は、昨年の能登半島地震の際、神奈川県が整備した防災DXシステムを被災地に提供し、避難状況の把握に貢献したことを挙げ、「ありとあらゆるもの全部DXで変わっていく

時代に入ってきていると感じています。皆さまと共に、さらに新しい時代を築いていきたいと思っております。」と力強く述べられました。

続いて、経済産業省の佐宗晃企画官より「人口減少の影響で生産性向上への切実なニーズがある日本だからこそ、AIのポテンシャルを最大限に引きだし、高い競争力を



もつサービスの創出、または利活用を促進しイノベーションを創出することが重要だと考えます。経済社会のイノベーションのコアであるAIが普及していく中、引き続き神奈川県情報サービス産業協会のリーダーシップに期待しています。」と祝辞を述べられました。



板橋哲也副会長の発声で乾杯となり、交流がスタート。中盤のアトラクションでは、サクソカルテット「グリーンレイ」による新年にふさわしい華やかな演奏が宴を彩り、会場は熱気に包まれました。

閉会の挨拶は、前山浩志副会長により行われ、和やかなうちに会は終了いたしました。



第2回川崎合同青年部会

開催日：2024年10月18日(金)
川崎市交流委員会

川崎市諸経済団体（17団体）から多くの若手経営者を集め、「第2回川崎合同青年部会」を川崎産業振興会館で開催しました。今回は川崎・横浜・大田区等の製造業だけではなく、多種多様な業界から、地域を盛り上げていく強い意気込みを持つ若手参加者99名（うち神情協15名）の集いになりました。2部構成で公開座談会・パネルディカッション・名刺交換等を行った後、立食パーティ形式の交流会も行われ大盛況となりました。参加したどの業種の方からも「IT業界とより連携していきたい」という思いがあり、多くの声掛けをいただきました。

今後もこの集いを起点に、若手の力で神奈川全体を盛り上げられるイベントに繋がっていききたいと思います。

株式会社データプロセスサービス 大西 雄一



第9回CTF競技会

開催日：2024年10月15日(火)
技術委員会

2024年度第2回目（通算9回目）のCTF（Capture The Flag）競技会が開催されました。今回もオンラインでの開催となり、12社20チーム60名が参加し、見学者10名と盛況な競技会となりました。

今回の出題テーマは「情報を盗む」という、情報漏洩に纏わる様々な攻撃や知識を学ぶことを目的としました。インターネット上のさまざまな脅威に対してシステムが有効なセキュリティ対策をとることが必要不可欠であることを認識する内容でした。また、前回の競技会では満点のチームが複数チーム現れたため、今回は「全問正解を阻止するんだ！」と運営側が気合いの入った問題を作成したこともあり、各チームがブレイクアウトルームでこの気合いの入った問題に悪戦苦闘しながら勝敗を競うイベントとなりました。途中には運営から悪戦苦闘が続いているチームに支援が入る



優勝 エルテックス

場面もありながらも、全チームが楽しめる内容になっていました。

ちなみに全問正解した場合の満点が255点に対し1位は130点でした。競技終了後、参加者全員へ非常に有効で丁寧な解説と上位3チームの表彰式を行いました。

競技会の結果は1位 エルテックス：eltexBANDITS、
2位 アルファ・ウェーブ：株式会社アルファ・ウェーブ
2、3位 エルテックス：eltexおむすびとなりました。

2025年度も春と秋にCTF競技会を開催予定していますので、多くの方の参加をお待ちしています。

株式会社NTTデータIMジェイエスピー 秦 健一



2位 アルファウェーブ

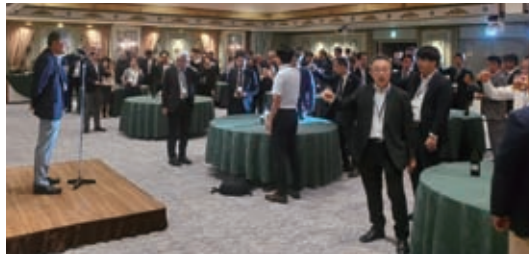


3位 エルテックス

第74回神情協ビジネスフォーラム

開催日：2024年10月17日(木)
企業経営委員会

第74回ビジネスフォーラムは、神情協の単独開催でホテルプラムで行われ、100名が参加しました。フォーラムは坂井会長の挨拶で始まり、第1部の商談発表では「株式会社エーアイネット・テクノロジー（シンプルで使いやすい人事考課Webシステム）」「株式会社エンベックスエデュケーション（神情協会員向け特別研修）」「株式会社アイセル（内製化支援サービス）」「横浜新都市センター株式会社（事業紹介）」「株式会社シンクロジック（大量リクエストを捌くサーバー事業とその応用）」「株式会社メタテクノ（作業員配置アプリ）」「株式会社アドテック



（スマートロッカー）」の計7社より多種多様な製品やサービスの紹介があり、参加者は興味深く真剣に聞き入っていました。

第2部は立食形式の懇親会が開催され、100名が参加し情報交換や名刺交換で会場が賑わいました。途中、新入会員の「株式会社LSFP」「株式会社ユニテック」「トキア企画株式会社」「株式会社ウェブフロンティア」「ディエスソリューション株式会社」「株式会社テクノコア」「ヴァンクル株式会社」7社と、ゲストの「エイトヒューマンパートナーズ株式会社」「テック情報株式会社」「日本メンタル再生研究所」3社が紹介され、また、各委員会から今後のイベント告知もあり、盛りだくさんの内容でした。

株式会社バリュー・エージェント 小林加奈子

第27回神奈川県私立大学就職研究会と神情協との情報交換会

開催日：2024年10月25日(金)
産学連携委員会

ホテルプラムで第27回神奈川県私立大学就職研究会（以下、県就研）と神情協との情報交換会が開催されました（参加大学22校、参加企業60社）。神情協・坂井会長、県就研・八田会長による開会挨拶でスタートした今回の情報交換会は、2部構成で行われました。



第1部では、株式会社マイナビ・三野さん、佐藤さんから『2025年卒・2026年卒最新学生動向』を、学生側・企業側双方の視点からご説明いただき、また現在の採用活動に関するトレン

ドなどの情報についても共有いただきました。

第2部では、大学側・企業側からそれぞれ事前に収集した質問事項に対し、①企業から大学、②大学から企業の順に質疑応答する形式で行われました。主に「早期化に伴う学生への案内タイミング」「最近の学生の特徴・傾向」や、「企業として入社前後でのサポート体制」「インターンシップから早期選考に関する考え方や取り組みなど」といったテーマが挙がっていました。

その後の懇親会では、美味しい食事を楽しみながら、名刺交換を通じたコミュニケーションが活発に行われてきました。第2部での質疑応答をきっかけにさまざまな情報交換が行われており、情報交換会の重要性を改めて感じる、大変貴重な機会となりました。

株式会社アイネット 新城 義人

第4回神情協営業担当者交流会

開催日：2024年11月11日(月)
神情協事務局

第4回神情協営業担当者交流会（KIA×JIET合同イベント営業担当者交流会）が開催されました。今回は特定非営利活動法人日本情報技術取引所（JIET）との共催で、大田区民ホールアプリコでの開催となりました。1社あたり2名までの参加可とし、KIA75名、JIET55名で合計130名の参加がありました。

板橋副会長の開催挨拶から始まり、12社による1分間スピーチで自社アピールの時間を設けました。今回も和やかな雰囲気の中、各社が名刺交換と情報交換を行いました。事前に参加社の交流目的を展開したことにより、効率的な出会いのお手伝いできたかと思われま

す。アンケートでは、ほとんどの参加者が20から30名前後の方と名刺交換することができたと回答があり、満足度の高いイベントとなりました。今後他団体との共催などを積極的に行ない、会員サービスの強化を図っていければと考えています。



アプリケーションコンテスト2024発表会

開催日：2025年1月23日(木)
技術委員会

技術委員会主催の第10回アプリケーションコンテスト発表・審査会が行われました。

今年は記念すべき10回目ということで、昨年を上回る参加チーム数となり、全8チームによる発表が行われました。そのため、KIA会議室は満席となり、会場に収容できない聴講者の方々にはZoomを通じてオンライン視聴をお願いしました。

発表された作品の中には、AI技術を活用したものや、業務で使われていない新しい技術を取り入れたものがあり、どれも魅力的でした。プレゼンテーションは非常に高いレベルで行われ、質疑応答も活発に進められました。

限られた時間の中で、新技術を採用したアプリの開発や資料作成を行うことは大変だったと思いますが、どのチームも実際に使用したいと思える実用的なアプリケーションを発表しており、その成果には感銘を受けました。



最優秀賞 ノックステータ



優秀賞 エルテックス



優秀賞 ブースターテクノロジー

バーによる一般審査に加え、昨年に引き続きご後援を頂いた横浜市、川崎市をはじめとする特別審査員による最終審査が行われ、以下のチームが表彰対象となりました。



最優秀賞 VRMC_SupportApp ノックステータ株式会社
(VRMと生成AIを用いて、「キャラクターによる日常の支援」を目指したWebアプリ)

メッセージを受け取り側がキツイと捉える文章を柔らかく変換してくれる機能が好評で、見事に最優秀賞を受賞しました。

優秀賞 クイズファミリー 株式会社ブースターテクノロジー
(遠隔地に暮らす両親の安否確認と脳を活性化するWebアプリ) 評価され、優秀賞を受賞しました。

優秀賞 Psychic Motion 株式会社エルテックス
(魔法のようにIoTデバイスを操作)

リモコンや音声認識を使わずに手の動作だけでデバイスを操作でき、機械学習をすることで新しいジェスチャーを追加することができる点などが評価され、優秀賞を受賞しました。

株式会社アイティサーフ 杉原拓実

第19回横浜ITフォーラム2024

開催日：2024年11月14日(木)
横浜市交流委員会

第19回横浜ITフォーラム2024は、横浜市経済局共催、横浜商工会議所・公益財団法人横浜企業経営支援財団・横浜ITクラスター交流会後援で横浜市開港記念会館で開催されました。歴史を感じる横浜市開港記念会館で「AIと共存する未来：活用とガバナンスの最前線」という最新テーマを学べる機会とあって、聴聞席からも期待感が溢れていました。

第1部は、横須賀市の太田耕平さんより「横須賀市役所における生成AIの活用について」の講演をいただきました。「今、横須賀に住んでいる市民を幸せにする街づくりのため」というAI活用の軸が明確で、市民へ正しい情報を伝達するために部署を超えてのコンテストなど、市役所一体となって取り組まれているのが印象的でした。企業とのコラボによる活動等、他の自治体も学びたいことを多く実践されておりました。

第2部は、株式会社NTTデータグループの伏田享平さんから「攻めのAIガバナンス：AI活用を推進するガードレール」の講演

いただきました。AIは高度なサポートが可能である反面、ビジネス・リスク・倫理などをバランスよくマネジメントしていくことが重要であるということ、世界の法規制やAIに求められる視点の拡大などを踏まえて講演をいただきました。自治体と企業、地域と世界、という異なるポジションの取り組みを知ることで、AIの知見を深めることができた講演でした。

DELE株式会社 福地真由香



横須賀市経営企画部 太田耕平 講師



株式会社NTTデータグループ 伏田享平 講師

女性次世代リーダー研修会参加者による座談会

開催日：2025年1月22日(水)
ダイバーシティ委員会

2019年から実施している女性次世代リーダー研修会(旧 女性管理職研修会)参加者を対象に、①研修から現在までの状況とこの先の未来、②未来の実現に向けて必要なこと・課題となっていること、③自分自身での解決策/会社への要望、といったテーマで座談会を開催しました。テーマはあったものの、コミュニケーションをとっているうちにいろいろな話題になり、自分の経験談



が他の人の新たな気づきになっていたり、ちょっと悩んでいたことへのアドバイスをもらえたりと、自由に会話し、自分自身に向き合う機会、新しい認識を得る機会にもなったように感じました。

座談会の後、女性次世代リーダー研修会講師である黒田先生からのラップアップ、ミニセミナー「チームで成果を出すためのヘルプシーキングというスキル」を実施いただき、相手を信じて「任せる」「委ねる」「頼る」ことも時には大切であることを理解しました。

参加者からは、「いろんな方のいろんな意見を聴くことができ、共感だけでなく新たな気付きも得ることができました。」「自分の経験を話すことで共感や参考にしますとさせていただいて嬉しかったです」などの声が聞かれました。

社内外を問わず、いろいろな方と交流のできる機会を、続けていければと思います。

株式会社ソフテム 塩谷昭子

第13回フットサル大会

開催日：2024年10月26日(土)
労働福利委員会



熱戦の末、株式会社アイネットが3対1で勝利し、2年連続の優勝を達成しました。大会のMVPには、株式会社アイネットの加藤聖弥さんが選ばれました。

結果は下記の通りです。

優勝：株式会社アイネット

準優勝：株式会社デジタルフォルン

3位：NTTテクノクロス株式会社

4位：NTTデータフォース株式会社

ナレッジビーンズ株式会社 山野豊嗣



MVP

第13回フットサル大会が、横浜市のあおばスカイフィールドで開催されました。曇り空の中、少し肌寒い気候でしたが、選手たちの熱気が会場を包みました。

予選は5チームごとの6グループに分かれ、10分1本勝負で行われました。選手たちはゴールを狙い、ディフェンスやキーパーも必死に防ぎます。選手交代が少ないチームもありましたが、どの選手も懸命にプレーする姿が印象的でした。

各ブロックの上位2チームと抽選で選ばれた4チーム、計16チームが決勝トーナメントに進出しました。決勝戦は、昨年の優勝チームである株式会社アイネットと株式会社デジタルフォルンの対戦となりました。

株式会社アイネットは6分に先制ゴールを決め、10分には2点目を追加。株式会社デジタルフォルンは11分に反撃のゴールを決め、1点差に迫りましたが、株式会社アイネットが13分に3点目の追加点を奪いました。



優勝



準優勝



第3位



第4位

第3回オンラインゲームによる交流会

開催日：2024年11月28日(木)
ダイバーシティ委員会

ダイバーシティ委員会では、同業界で働く社員同士の交流イベントとして、今年も「オンラインゲームによる交流会」を16名の参加者で実施しました。当日は、出題者がカタカナのワードについて、カタカナを使用せずヒントを出し、出題者以外が出されたヒントからカタカナのワードを当てるというゲーム「ボブジテン」を行いながら、お酒を飲みつつリラックスした雰囲気での交流を深めました。ゲームはポイント獲得形式の個人戦だったため熱い戦いが繰り広げられました！

また、上位成績者は下記の方々でした。

◎1位 I.Mさん(株式会社データプロセスサービス)

「ゲームはそんなに得意ではないので、まさか1位になるとは…。ルールの方がしやすいゲームで盛り上がり、幅広い世代の方と交流できて楽しかったです！」

◎2位 望月貴文さん(株式会社アイネット)

「カタカナ語を使用せずにカタカナ語を説明するのは予想以上に難しかったです。途中からカタカナ語の説明が3単語、2単語、1単語と減っていき難易度が上がりました。

参加者の方々の珍解答(?)も面白かったです。」

◎3位 横山日向子(株式会社データプロセスサービス)

「はじめてお会いする方もいて緊張しましたが、ゲームを通してお話をしたり、笑いを共有したことで緊張もほぐれ、楽しく参加することが出来ました。ぜひ次回も参加したいです。」



工場見学会レポート

開催日：2024年10月29日(火)
技術委員会

寒川町にある日産工機株式会社と厚木市にある黄金井酒造株式会社を見学しました。

日産工機は、EVで使われるモーターシャフトや最新の可変圧縮比エンジンで使われる部品など、高精度・高強度を求められる部品を製造しており、実際の製造現場を見学することができました。エンジンやデフなどの組み立てを行うラインは多品種少量生産に対応するため、複数の製品を同じラインで同時に製造できる混流ラインとなっており、生産性と柔軟性を両立できるように人とロボットがうまく分業していました。繁忙期はラインを長くして生産速度を向上させることができるなど、複数品種への対応以外にも柔軟に対応することができるそうです。これらのラインの改善は現場主導で行われているとのこと、改善提案の月間表彰も掲示されていました。ソフトウェア業でも品質改善は大きなテーマとなるため、異業種ながらも刺激を受けることができました。

黄金井酒造は、創業200年を超える老舗の作り酒屋で、現在は日本酒だけでなく、焼酎やビールも製造しています。発酵槽の温度を遠隔でリアルタイムに確認するなど、伝統的な製品を製造しながらも、IoTを駆使したものづくりが行われていました。

創業200年以上の企業は世界で2000社程度ありますが、そのうち半数以上が日本の企業ということで、日本の国や文化の長所を改めて感じることができました。

株式会社エーアイネット・テクノロジー 栗山桂一



海外研修【スリランカ】～エンジニア採用のための視察ツアー～（10/5～10）

開催日：2024年10月5日(土)
川崎市交流委員会

川崎市交流委員会の海外研修ツアーとして、スリランカの3つの大学と2つの企業を訪問しました。また、世界遺産であるシーギリヤロック、仏歯寺（仏陀の歯が納められています）や、紅茶工場、ロイヤルコロンボゴルフクラブ（1879年創立）も訪れました。コロ

ンボ大学とペラデニア大学では次のような話を聞くことができました。

・スリランカ学生の強みは①英語力②海外志向③専門性、③が次項目につながる。

・初任給は専門分野・習熟度・企業ニーズ等により大きな差があるが、概ね20万～50万ルピー（10万円～25万円）の範囲。もう1つの大学LNBTI（Lanka Nippon Biztec Institute）は、日本語とITを教えスリランカと日本をつなぐ人材の育成を目的とした大学ですが、ここでは学長とともに日本語

教師からの話を聞きました。学長のクマーラさんは名城大学での学部長を歴任し、現在も日本グローバル人材教育学会の会長を務めるなど、日本との関係も深く、日本語も堪能で、LNBTIにおける人材育成モデルについて情熱的に語るプレゼンは印象深いものでした。また、自身のビジネス経験を踏まえて話せる日本語を教えようとする佐土井先生の姿勢に感銘を覚えました。

日本では少子化、採用難、IT人材需要増が進み、海外人材への期待の高まりを感じます。今後も神情協を通じての海外人材活用を推進するような試みが更に充実していくことに期待したいと思います。

株式会社メタテクノ 福重一彦



第34回軟式野球大会が終了しました

開催日：2024年11月24日(日)
労働福利委員会

第34回軟式野球大会が無事終了いたしました。参加チームの皆様、ご協力いただきまして誠にありがとうございました！

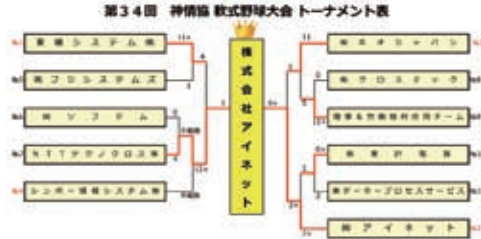
結果は以下の通りとなります。

優勝：株式会社アイネット

準優勝：NTTテクノクロス株式会社

第三位：東横システム株式会社

第三位：株式会社ネオジャパン



第47回川崎市中小企業大運動会

開催日：2024年11月10日(日)
川崎市交流委員会

前回の2019年から5年ぶりに川崎市中小企業大運動会が開催されました。前回と同じく6団体が参加し、大勢の参加者で賑わっていました。当日は曇り気味でしたが、涼しい中で気持ちよく体を動かすことができました。

子ども向けの種目などでは親子で楽しむ姿も見られる中、団体対抗種目は普段から運動している人もそうでない人も、協力しながら



良い雰囲気で開催できました。特に大縄跳びでは、我々の委員会が1位を獲得し、最終種目の団体対抗リレーでは2位でゴールすることができました。総合順位は4位で入賞を逃したものの、副実行委員長を務められた大西さんの言葉にもあったように「ケガなく」を第一として、日ごろのリフレッシュになる一日でした。

ジスクソフト株式会社 富澤慶二郎

神情協 大クリスマスパーティー2024

開催日：2024年12月17日(火)
企業経営委員会

今回で第17回目となる「神情協 大クリスマスパーティー」は、2年ぶりにホテルプラムで開催されました。各企業の若手社員を中心に122名が集まり、大いに賑わいました。サンタ姿の崎濱さんと桜井さんが会場を盛り上げながら進行する中、坂井会長の開会挨拶に始まり、乾杯の音頭、続いてのペアリング企画では、なかなか相手が見つけれられない方もいましたが、スタッフの手厚いサポートで無事に成立しました。

今年のテーブル対抗ゲーム企画は、2段階構成のかなり工夫された内容となっており、出題者が狙った「ひっかけ回答」に見事にハマるチームもありました。

そして最後は毎年恒例、参加者が一番集中力を発揮する協賛企業



提供のプレゼントの抽選会。今回は43社から協賛いただき、122品の豪華景品を含むたくさんのプレゼントが用意されました。参加者全員がもれなくプレゼントを受け取り、大変盛り上がりしました。

ここ数年、参加者の増加傾向も見られ、神奈川県のIT業界の活性化を肌で感じる事ができたイベントとなりました。

システムニール株式会社 花園 泰

女性次世代リーダー研修会

開催日：2024年11月19日(火)
ダイバーシティ委員会



株式会社WOMAN COLLEGE黒田佳奈子さんによる全3日間の研修会が開催されました。13社20名が参加、最終日は株式会社リパース・フロウ清原豪士さんの講義がありました。

第1講は「ダイバーシティ&インクルージョンをリーダー目線で捉える」をテーマに、予測不能な「VUCA」時代に対応できる組織作りのための考え方を、講義と各4名のグループワークを通じて学びました。

第2講は「体感型ゲーム 組織の主体性を引き出す『チームワー

ク』とは」をテーマに、二つのゲームで気づきを次につなげるための実践練習をしました。最初は職場での出来事を振り返り「語り合う(対話)」ことで、内省を深めるマネジメントハブニングワーク、次に疑似会社経営ワークを実施しました。

第3講は「NUCA時代のリーダーが身につけたいコーチングとクルーシャルカンパセーションスキル」、傾聴と一筋縄ではいかない話し合いの2つをテーマに、仕事の現場で活用したくなるコミュニケーションスキルを体験しました。研修終了後は懇親会が執り行われました。

参加者は普段の仕事を振り返り、自分自身を見つめ直すことで、学びと気づきを得ることができました。会社も職種も異なる参加者同士が、回を重ねるうちに自然と親密度が高まる様子が印象的でした。

株式会社トマト 裊允頂

神情協 学生ITコンテスト2024最終選考・発表会

開催日：2024年11月26日(火)
産学連携委員会

10回目を迎えた学生ITコンテスト2024最終選考・発表会は「ITで守る、つながる、支える～災害への備え」というテーマで118作品がエントリーされました。協会内審査員による第1次、第2次審査の結果、14作品が選出され、ホテルプラムで最終プレゼン発表が行われました。当日の会場出席者は、学生・学校関係者・協会会員および審査員を含めて約120名、ウェビナーでも発表会の模様配信されました。

発表された作品は、防災の対象となる方への視点が多様で、高齢者、障がい者、幼児、ペットまでを考慮しており、災害時だけでなく平常時にも使えるような考察力の深さに驚かされました。VRやビッグデータの活用など、AI技術の浸透も実感しました。

審査員16名と一般参加者(企業参加者)の投票による厳正なる最終審査の結果、ビジネス企画部門優秀賞「Sonar Yell」(神奈川大学)、ITプロダクツ部門優秀賞

「CosmoCarry」(情報科学専門学校)が選ばれました。そして最優秀賞はビジネス企画部門から「Mr. StockBox」(神奈川県立産業技術短期大学校)が選ばれました。最終選考に残った作品はぜひ実用化してほしいと、審査員に評価されるほど高い評価を受けました。

今年度の10回目を節目として、このITコンテストはお休みさせていただきます、今後新たな形でご提案できればと考えてます。

ニューテック株式会社 五十嵐友香里



最優秀賞

ストレスチェックを活用した働きやすい職場づくり

開催日：2024年12月6日(金)
労働福利委員会

労働福利委員会の主催により、「ストレスチェックを活用した持続可能な働きやすい職場づくり」をテーマにしたセミナーが開催されました。講師にはコントレワークス代表の清水雄介さんをお迎えし、現代の働き方におけるメンタルヘルスの課題と、職場環境を改善する具体的な方法についてお話いただきました。

清水さんは、コロナ禍以降にメンタルヘルスに関する不安が2倍に増加し、その状況が高止まりしている現状について指摘しました。リモートワークの普及に伴う長時間労働やコミュニケーション不足が、生産性の低下や欠勤の増加、さらには離職率の上昇といったリスクをもたらしていることについて解説され、これらの課題に対応する重要性を強調されました。

セミナーでは、ストレスチェックの導入による具体的なメリットも詳しく語られました。清水さんは、その目的について「従業員が自分自身のメンタルヘルスリスクに気づき、企業が対策を講じて

問題を未然に防ぐこと」と説明。また、ストレスチェックが正直な回答を得られる設計になっていることで、従業員のモチベーション向上にもつながりやすいと述べました。

参加者からは、「ストレスチェックを会社で導入する重要性を再認識した」「具体的な改善策を考えるきっかけになった」といった感想が寄せられました。セミナーを通じて、ストレスチェックが単なる義務的な取り組みではなく、職場全体の生産性やモチベーションを高める重要なツールであることが実感されたようです。

終了後、多くの参加者が「会社に持ち帰って導入を進めたい」と意欲的に語る姿が印象的でした。清水さんの講演は、働きやすい職場環境をつくるための第一歩となる貴重なヒントを与えたと言えるでしょう。

株式会社アイポケット 水谷 悟



第42回社内教育に関する情報交換会

開催日：2024年12月11日(水)
教育研修委員会

第42回社内教育に関する情報交換会が事務局で開催され、総勢21名が5テーマについて意見交換しました。この会は、教育研修委員会の年一回開催の恒例企画であり、日頃から人材育成に悩みながら取り組む参加者同士により、熱のこもった情報交換が繰り広げられました。

《注力している教育テーマ》としては「ヒューマンスキル」という声が多く、ロジカルシンキングや自己分析・言語化、1on1というキーワードも上がりました。《リーダー候補への動機づけの取り組み方》というテーマでは「実務ではなく間接的なQCサークルや会社イベント(福利厚生)の企画運営など、本人が興

味を持つものに参加してもらってモチベーションが醸成されることがあり、むしろ、そういう機会をどれだけ提供できるかではないか」という意見が共有されました。

さらに、「社員教育で苦勞していること」というテーマでは「(1年目は手厚いが...)2,3年目に対する教育/現場と会社側との課題ギャップ」、《新人教育での工夫》というテーマでは「アウトプット(発表)の機会をしっかりと作る事で経験を積ませる/OJT担当の人選&OJTの充実度」、《管理職向けの研修での工夫》というテーマでは「管理職のやりがい・メリットの共感を得る/成功体験としてグループ成果を評価する」といった内容が発表されました。

各社それぞれが常に改善を続けながら人材育成に力を注いでいる事が、垣間見られる大変有意義な情報交換会になりました。

株式会社ショウナンソフトウェア 齋藤和義



シリーズ会員企業紹介

■テクノスクエア株式会社

当社の始まりは2002年、4名の技術者が集い「テクノスクエア」を設立しました。その後、取引先は順調に増え、当社の技術者も10倍以上の人数に増えました。

社長自身がエンジニアとして働いてきたからこそ、現場の気持ちがよく分かり、よく分かるからこそ、一人ひとりのエンジニアを大事にする。これが当社の大きな魅力であり、多くの社員が長い間、当社で働き続けている理由です。技術者たちが満足いく環境でイキイキと働くことにより、開発の質は必ず上がる。

そのことが顧客の満足を呼び、さらに案件を受注する。このサイクルこそが成長の原動力

だと信じております。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。



設立：2002年10月11日
資本金：1,000万円
売上高：4億9,000万円
社員数：65名
住所：神奈川県川崎市川崎区南町1-1
日本生命川崎ビル12階
Tel：044-221-7718
URL：<http://www.tecsq.co.jp/>

■株式会社愛宕

今年で20年目を迎える当社は、高い技術力と専門性を持つプロフェッショナルが集まったシステム開発の会社です。これまで即戦力の中途採用を行う少数精鋭のエンジニア集団でしたが、現在では若手や学生の育成にも力を注いでいます。

我々は大手通信会社や大手自動車会社から受注したシステム設計・開発に取り組み、業界の最前線で活躍してきました。その中で常に新たな技術に挑戦し、最新のトレンドに即したソリューションを提供しております。今後はLLMネイティブエンジニアの育成と、開発対応を多く実施してまいります。

当社の強みは技術力だけではなく、人間力を重要視している点にあると考えております。チームメンバーが尊重し合い、コミュニケーションを密にすることで、知識や経験を迅速に共有し、問題解決力を高めています。これによって常に高品質で信頼性の高いサービスを提供し続け、お客様よりご満足いただけてまいりました。

今後も私たちはお客様のビジネス課題を深く洞察し、柔軟かつ迅速に対応してまいります。神情協の会員の皆さま、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



設立：2005年10月5日
資本金：2,000万円
売上高：8億円
社員数：27名
住所：神奈川県川崎市川崎区東田町9-6
Tel：044-230-4411
URL：<https://www.ata5.co.jp/>

■日興テクノ株式会社

日興テクノ株式会社は、1946年に電話設備工事業者として創業し、その後の急速な技術革新の波に乗り、ICT分野で常に最先端のテクノロジーを取り入れながら成長してまいりました。現在では当社の経営理念である「誠実と信頼」のもと、「ネットワーク」「ソリューション」「ヘルスケア」「スマートオフィス」の4つの分野を柱に、南関東地域を中心にICT関連の製品とサービスをワンストップでご提供しています。企画・販売から構築・導入、運用・工事・保守に至るまで、一貫したサポートでお客様のオフィス環境を最適化し、お客様にご満足いただける製品とサービスを提供し続けております。

当社は健康経営を重要な経営方針と位置づけ、従業員とその家族の生活向上に取り組んでいます。2020年の健康宣言以降、テレワークや柔軟な勤務形態の導入、DX化の推進により、従業員のモチベーションアップとライフワークバランスの向上を図ってきました。また、経済産業省の「健康経営優良法人ブライツ500」に3年連続で認定され、横浜市長からも「横浜グランドスラム企業」として表彰されています。

2026年に創業80周年を迎える日興テクノは、これからも「感謝」の気持ちを忘れずに、お客様と従業員の満足を第一に考え、誠実で信頼される企業として成長を続けていきます。



設立：1946年9月18日
資本金：2,000万円
売上高：35億円
社員数：85名
住所：神奈川県横浜市磯子区森3-3-5
Tel：045-761-2441
URL：<https://nikko-technos.com/>

賛助会員紹介

■ご挨拶

株式会社プレミアサポートは、神情協の賛助会員に入会させていただき、10年目となりました。平素は会員の皆さま方と公私ともに素晴らしい交流をさせていただき、心より感謝しております。また、代表の増木は夫婦揃って労働福利委員会の活動に参加させていただいております。皆さまにあらゆる面で貢献させていただきたいと思い、取り組んでおります。今後ともどうぞよろしく願いたします。

■業務概要

私達は皆さまに最高ランクのサポートを提供させていただけるよう、安心してご相談いただける保険代理店を目指しております。

生命保険、損害保険、法律や税務、経営やリスク対策に関する事はもちろん、プラスアルファの情報提供ができるよう、様々な企業や専門家とのネットワークを構築して合理的かつ価値ある包括的なサポートを提供させていただきます。事故時の対応を第一とし、専門性の高い法人向けの損害保険や経営者向けの生命保険取り扱いに高い評価をいただいておりますが、個人向けの各種保険のご相談、見直しに関するご相談などもお気軽に問い合わせください。

すでに保険にたくさんご加入で整理したい方、節約したい方、これから起業やご結婚など新しい生活をスタートされる方、外貨建保険や変額保険など資産運用の保険にご興味がある方、知識に全く自信がない方でも安心して相談ができ、その後もプレミアムなサポートをご提供させていただきます。

弊社では、大手保険会社の商品を多数取り扱っておりますので、皆さまにピッタリのプランをご案内する事が可能です。お問い合わせは随時受付しております。ご相談は無料です。お電話またはEメール、LINEにてお気軽にお問い合わせください。



■企業情報

社名：株式会社プレミアサポート

設立：2012年9月19日

代表者：増木 新也

所在地：〒231-0032神奈川県横浜市中区不老町3-12-3 加瀬ビル201-901

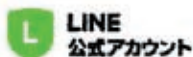
TEL：045-264-8300 FAX：045-264-8301

E-mail：s-masuki@premier-s.co.jp

Line：@premier-support

従業員数：5名 業務内容：総合保険代理店

取扱商品：生命保険・損害保険・少額短期保険・確定拠出年金（企業型）



新会員 INFORMATION

■正会員

株式会社ルーシップ

東京都千代田区九段南

代表 阿部 豊

<https://www.rootship.co.jp/>

TEL 03-3239-3678

業務 ・システム開発 (java,php,go)
・システムインテグレーションサービス
・ITコンサルティング・パッケージ導入支援 (Salesforce)

■正会員

株式会社メリウステック

横浜市西区北幸

代表 篠崎 雄二

<https://www.melius-tech.co.jp/>

TEL 070-3366-8585

業務 システム企画・設計・開発、
ネットワーク/サーバ構築

■正会員

株式会社 TSUNAGU

横浜市鶴見区獅子ヶ谷

代表 田村 逸人

<https://tsunagu.ltd/>

TEL 045-947-4063

業務 物流コンサルティング、ソフトウェア開発、ヘルプデスク

■正会員

株式会社エフィシエント

横浜市西区みなとみらい

代表 脇坂 健一郎

<https://efficient-inc.com/>

TEL 080-7735-3861

業務 物AiやIoTを活用したプロダクト開発やシステム開発を手掛けています。特に、業務効率化や生産性向上を目指したソリューションを提供しており、企業のデジタル化支援に力を入れています。幅広い分野での技術提供を通じ、顧客のビジネスプロセスを開拓し、競争力の向上に貢献しています。

■正会員

株式会社アルネット

横浜市中区本町

代表 渡邊 輝明

<https://tsunagu.ltd/>

TEL 045-222-8840

業務 ソフトウェア事業 (Mendixを活用したDX支援、受託開発、SES事業)
ハードウェア事業 (クラウド型デジタルサ

イネージ配信システム、ハード受託開発、真偽機開発)

SaaSサービス販売 (バーチャル展示会、医療現場用電波監視システム、eラーニングシステム、馬術競技採点システム、国保・社保等のレセプト分析システム)

■賛助会員

株式会社ライフプラザパートナーズ

横浜市西区北幸

代表 山根 隆男

<https://www.lifeplaza.co.jp/company/office/yokohama.html>

TEL 045-328-4380

業務 生命保険の募集に関する業務、損害保険代理店業務

広報委員会コラム

二十四節気において春の始まりとされる日「立春」ですが、この「立春」を過ぎると、「暦の上では春ですが・・・」と、様ざまなところでまだまだ寒い日が続くことへの表現として用いられます。皆さんも一度くらいはこの表現が使われたり聞かれたりしたこともあろうかと思えます。

この「立春」の前日が「節分」ですが、今年は2月2日が節分ということで、気になって調べてみたところ、実は4年前の2021年も節分は2月2日でした。その前は実に124年前の1897 (明治30) 年だったようです。「節分=2月3日」と当たり前のよう過ぎていたのでちょっと違和感を覚えますが、これは、国立天文台の観測で、「太陽黄経が315度になった瞬間が属する日」を立春としているため、年によっては立春が2月4日だけでなく、2月3日となる日があることになります。何だか不思議ですね。

今年は2月2日が節分でしたが、例年通り2月3日に豆まきをしたり、恵方巻を食べたりされた方はいませんでしたか? (笑) ちなみに、4年後の2029年も2月2日が節分となるようです。さらにその4年後の2033年も同様のようです。こうなると、2月3日が節分という認識が少しずつ変わって行くかも知れませんね。それにしても、暦の上では春だということに本当に寒い日が続きますね。この号が届く頃には春の訪れを実感したいものです。

株式会社アルファメディア 代表取締役 小湊 宏之